

開院記念日事業

市立病院では、昭和26年に国立江別診療所が江別町に移管され、外科、内科、放射線科の3診療科病床数28床で開院した6月12日を開院記念日としています。

毎年、市民に親しまれる病院を目指して開院記念事業

を行っており、今年度も次のとおり開催します。



日時	イベント・内容	開催場所
6月12日(火) 9:30～11:30	◆健康相談コーナー 栄養相談・薬事相談・健康相談・介護相談	エントランスホール
6月12日(火)～ 14日(木)	◆盆栽展 (江別盆栽同好会主催)	1階外来側通路(窓側)
6月18日(月) 17:00～17:50	◆ロビーコンサート フルートの夕べ ドビュッシー/小さな羊飼、ビゼー/「アルルの女」よりメヌエット、本居長世/浜辺の歌 他	エントランスホール

講演会・教室

上手な医者のかかり方講演会

参加無料、直接会場へ。託児は事前に連絡が必要。

第1部 基調講演「地域を守る

医療」講師 足立 智和氏、第

2部 パネルディスカッション

「防げるか医療崩壊」

日時/6月16日(土)13時30分～16

時。会場/市民会館21号室。

【詳細】 幸せなまちづくり江別の

会 ☎ 387・9588 (諏訪部)

あすか会設立45周年記念講演会

精神科で処方される薬の話、

抗精神病薬・抗うつ薬について

参加無料、直接会場へ。

日時/6月21日(木)13時。会場

/市立病院2階講義室。講師/

診療技術部薬剤科 木村 輝海

薬剤師

【詳細】 あすか会 ☎ 383・2672

(今野)、同会事務局 ☎ 382・

5151 (内線2600)

糖尿病教室

医師・薬剤師が糖尿病について分かりやすくお話しします。参加無料、直接会場へ。

日時・内容/①6月8日(金)15時

②16時。食事と病気(西平内科

医師)、インスリンとは?(小

松薬剤師)。②6月22日(金)15時

③16時。コレステロールをめぐ

る話題(青木循環器科医師)。

会場/①②とも市立病院2階講

義室

【詳細】 診療技術部栄養科

☎ 382・5151 (内線6821)

◆市立病院職員募集 申込先・詳細 市立病院管理課総務係

☎ 382-5151 (内線2006)

職種	仕事の内容	就業時間	賃金形態	採用人数	休日等	雇用形態	年齢	採用日
看護師(非常勤)	外来または透析室における看護業務	8:30～17:00 (時間帯は応相談)	時給 1,380円	4名	週休 二日制	非常勤職員 (3月、9月 末締め更新) 契約更新の 可能性あり	不問	応相談
看護師(非常勤)	病棟における看護業務	8:30～17:00 10:00～18:30 11:30～20:00 (時間帯は応相談)	時給 1,500円	3名				

今どきの養生ばなし

No.230

川崎病について

診療技術部長 信太 知

川崎病は、主に乳幼児に見られる全身性の血管炎です。発熱、眼の充血、頸のリンパ節の腫脹、唇や口の内の発赤、手や足のむくみ、発疹、BCGを接種した場所の発赤などが特徴的な症状です。原因は分かっていますが、何らかの感染症が引き金になっていると考えられています。重症になると心臓の冠動脈に大きな動脈瘤ができて、心筋梗塞を起してしまう場合もあります。

第1例目の川崎病は、昭和36年1月に発見者である川崎富作博士が受け持った4歳3か月の男の子でした。昭和55年から2年に1回川崎病の全国調査が行われ、川崎病の患者数や冠動脈の後遺症を残す割合などが調べられています。患者数は年々増えています。第1回調査の頃は、川崎病患者報告数は全国で年間千人未満でした。しかし、最近の報告数は年間1万人を超えています。川崎病は珍しい病気とは言えなくなりました。ちなみに、最近では全道で年間4～500人が川崎病になります。江別市立病院小児科では年間15～20

人が川崎病で入院します。

発熱が長期間続くと血管の壁の破壊が進み、冠動脈瘤などの後遺症を残す可能性が高くなります。従って、冠動脈の異常ができてしまう前に血管炎を抑えてしまうことが治療の柱です。献血から作られるγグロブリンを大量に注射する治療が有効です。しかし、10～20%の患者さんはγグロブリンがよく効きません。その場合は追加治療が必要になります。治療前の血液検査のデータなどからγグロブリンの効き目がある程度予想することができます。効き目が良くなさそうな患者さんにはγグロブリンに副腎皮質ステロイドを併用する治療法が、最近注目されています。

最近では後遺症を残す患者さんの割合は少なくなりました。しかし、少数ですが心筋梗塞の危険性がある大きな冠動脈瘤を残す場合もあります。川崎病は注意が必要な病気です。

※γグロブリン:血液中にあるたんぱく質で、免疫に関与し、多くのウイルス、細菌などを中和する働きがあります

聞こえに障がいのある方のために 要約筆記をご利用ください

◆**要約筆記とは**
人生の半ばで聴覚が不自由になった方（中途失聴者・難聴者）は、手話を覚えることに困難を感じる方が少なくありません。

◆**要約筆記とは**
中途失聴者・難聴者がコミュニケーションをとるための手段として、話している言葉の内容を要約し、文字として伝えることを「要約筆記」といいます。要約筆記に携わる筆記通訳者には、主観を交えずに話の内容を要約し、速く、正しく、読みやすく伝えることが求められます。

◆**筆記通訳者を無償で派遣**
市では、筆記通訳者を無償で派遣しており、通訳者を養成するための講習会も毎年開催されています。

◆**要約筆記講習会を開催**
日時／6月22日、29日、7月6日、13日、27日いずれも金曜日（全5回）。10時～15時。会場／総合社会福祉センター（錦町14・87）。対象／市内に在住・在学・在勤の高校生以上20人。教材費／テキスト代千円。持ち物／筆記用具、昼食。



◆**詳細・申込先**
福祉課障がい福祉係 ☎ 381-1031 FAX 381-1073
Email=fukushi@city.ebetsu.lg.jp

◆**要約筆記講習会を開催**
参加者が多い会議や講演会などでは、文字を拡大してスクリーンに映し出します。病院の受診や学校の懇談会などの個人的な場では、利用者の隣に座って書いて伝えます。筆記通訳者には守秘義務があり、通訳内容が外部に漏れることはありませんので、ぜひご利用ください。

新任医師紹介



総合内科 医師 ^{いわた ひろよし} 岩田 啓芳
所属学会／日本内科学会、プライマリア学会、日本感染症学会、日本消化器内視鏡学会
ごあいさつ／市民の皆様にご貢献できるよう頑張ります。

「市職員採用ガイダンス」 開催のお知らせ

市職員採用試験の受験を考えている方を対象に、「市職員採用ガイダンス」を開催します。

ガイダンスでは、平成24年度採用試験の概要説明のほか、市の概要や具体的な仕事内容なども紹介します。（一般事務職・消防職など）

当日直接会場へお越しください。

▽開催日時

平成24年6月30日（土）

第1回 15時00分～17時00分

第2回 18時00分～20時00分

▽会場

江別市民文化ホール（えぼあホール）大麻中町26-7 ☎ 387-3315

【詳細】職員課 ☎ 381-1007

FAX 381-1070

Email=shokuin@city.ebetsu.lg.jp

lg.jp



ジャガイモシストセンチュウ

ジャガイモの根から養分を吸収し収穫量を減少させる害虫で、一度畑に侵入すると完全に根絶させることが難しく、生産に重大な影響を及ぼします（人体には無害であり、ジャガイモを食べてもまったく問題ありません）。

この害虫は自動車のタイヤ、靴などに付いた土によって移動し、広がるおそれがあります。

発生予防とまん延防止 にご協力をお願いします！

ジャガイモの疫病

疫病は、茎葉を枯らし、ジャガイモを腐敗させ大きな減収を招きます。開花期ごろに激発し、20℃前後で降雨が数日続くと数時間で感染し、数日で胞子が風雨で周辺に広がります。疫病は、発生してからではおさえることが困難であり、畑全体および周辺にも広がる病気です。

発生直前の農薬の予防散布が疫病のまん延を防止します。

ジャガイモシストセンチュウおよび疫病の発生予防とまん延防止のため、家庭菜園などでジャガイモを植えるときには、種子用として適正栽培された種イモを使用してください（正規に販売されている種イモには種馬鈴しょ検査合格証票が付いていますので販売店でご確認ください）。

また、地元農業を守るためにも農家の畑には無断で入らないでください。

【詳細】農業振興課 ☎ 381-1025

こころの健康づくり・自殺 予防対策講演会

=誰も置き去りにしない社会を目指して～自殺対策と被災地支援の実践から＝

NPO法人自殺対策支援センター
ライフリンク代表
であり、元内閣府
参与の清水康之氏



を講師に招きます。被災地での実践活動などを聞き、そこから自殺予防のために家庭や地域でできることを一緒に考えませんか。参加無料。直接会場へ。

日時：7月7日（土）13:30～15:30

会場：江別市民会館37号

詳細：保健センター

☎ 385-5252